

# 貴重な戦争遺物

発見場所：区内の建設現場（場所は非公開です）



全長490cm 重さ4 t

さん  
しき  
じゅう  
に  
せんち  
こう  
しゃ  
ほう  
**三式十二糎高射砲**

## ■ 新発見の高射砲

令和3年(2021)4月、区内の建設現場から、旧日本陸軍の高射砲が出土しました。高射砲は、日本を空襲するために飛来したB29を撃墜するための武器です。出土した部分は、砲弾を発射する砲身にも見えますが、砲弾発射時の強い衝撃を吸収するための部分と推測されており、砲身は発見されませんでした。巨大な高射砲であり、地面に固定するための強固な基礎部分も発見されています。

## ■ 三式十二糎高射砲の特徴

本砲以前の高射砲は、高高度(1万m上空)から爆撃するB29に砲弾が届きませんでした。本砲は、当時の最新技術を用いて発射口が直径12cmという大口径で製造されたため、高高度まで砲弾が届きました。

## ■ 貴重な戦争遺物

本砲は、戦争終盤に製造されたため、百数十門しか生産されておらず、横浜市で砲身が発見された以外に残存部分は見つかっていませんでした。今回の発見は、極めて貴重なものであり、陸上自衛隊高射学校で保管されることになりました。

### 文化財豆知識 足立区の高射砲陣地

梅島・舎人・保木間など足立区内の各地に高射砲陣地が配置されていました。こうした陣地は、戦後、アメリカ軍によって解体されるなどして、ほとんど痕跡が残っていません。しかし、今回の発見は、敵味方関係なく惨禍をもたらす戦争があったことを私たちに伝えています。



六角形に配備された足立区内の高射砲陣地  
昭和22年(1947)撮影 国土地理院